

## 決議第 2 号

### MV22 オスプレイの宮崎県内低空飛行訓練に反対する決議（案）

米軍海兵隊の垂直離着陸輸送機 MV22 オスプレイが沖縄県普天間基地へ配備され、米軍基地の多くが存在する沖縄県民の生命・財産を脅かしている現状は同じ国民として同情の念を禁じ得ないところである。

国家間の安全保障の取り決めがあるにしても、戦後から続く長年の基地問題に耐え忍ぶ苦悩とともに、現実には事件・事故、騒音被害が起きていることは残念でならない。

またオスプレイは過去の開発段階から繰り返し事故を起こして構造的な欠陥が指摘されており、その不安は払しょくできていない。

このような中、本年 3 月 6 日から 8 日にかけて本市を含む九州地方上空（イエロールート）での訓練が予定されていたが、四国地方上空（オレンジルート）に急遽変更され実施されたところである。

しかしながら、このことは、今後、九州地方上空（イエロールート）での訓練が実施される可能性がなくなったということの意味するものではなく、訓練時の予期せぬ事態に対する不安も拭い去れないことから、看過できないものである。

よって本市議会は、市民の生命・財産の安全を第一に、MV22 オスプレイの延岡市を始め、宮崎県内ひいては国内全域にわたる低空飛行訓練に反対するとともに、沖縄県民の米軍基地の負担軽減に取り組むよう求める。

以上、決議する。

平成 25 年 3 月 21 日

延 岡 市 議 会